

まえがき

青森県の経済情勢は、日本銀行青森支店の発表によると「県内の景気は、緩やかに回復している。最終需要動向を見ると、個人消費は全体としては回復している」としております。

令和5年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大から3年を経てようやくその影響は落ち着きつつあり、世界経済には回復の動きがみられました。

日本においても、5月に新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行されたことなどにより、コロナ禍で制約されてきた外食や旅行等の消費の動きに回復がみられたほか、半導体の供給制約の緩和等による輸出の増加、インバウンド需要の回復の動きなどもみられ、経済社会活動は緩やかに正常化へと向かってきています。

また、軽自動車検査協会では、令和6年1月4日より軽自動車について自動車検査証(電子車検証)の交付を始めております。

このような中、令和5年度の検査登録申請等に関する状況につきまして、登録車と軽自動車を合わせた全国の新車販売台数は、前年度比 3.3%増の 4,528,668 台となり、2年連続で前年度実績を上回りました。

令和5年度、県内の新車台数状況は、登録車が前年度比 6.4%増の 29,087 台と、2年連続で前年を上回り、軽自動車は、前年度比 7.4%減の 20,229 台と、前年を下回りました。この結果、二輪を除く新車総台数は、前年度比 0.3%増の 49,316 台となり、2年連続前年度実績を上回りました。

また、中古車台数状況は、登録車が前年度比 3.3%増の 40,005 台と前年度実績を上回り、軽自動車は、前年度比 0.6%減の 41,951 台と5年連続で前年度実績を下回りました。中古車総台数では、前年度比 1.3%増の 81,956 台となり、6年ぶりに前年度実績を上回りました。

さらに、自動車保有車両数は、令和6年3月末現在 999,304 台で前年同期比 3,515 台の減少となっており、3月末で 100 万台を下回るのは11年ぶりとなりました。一世帯当たりの保有車両数は 1.69 台と前年と同様となっております。また、ハイブリッド車の保有車両数は 103,682 台、前年同期比で 10,067 台増加しており、登録車両数(小型二輪車を除く)512,234 台に対し 20.24%の占有率となっております。

この資料は、東北運輸局青森運輸支局のご協力を得て、当支部及び当会議所のホームページに掲載しております。この資料が、関係官庁及び関連業界などの各専門分野で分析・研究され車社会を考える一助になれば幸甚に存じます。

令和6年10月

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会青森県支部
一般社団法人 青森県自動車会議所